

「セッション・ファシリテータ養成」 コース

【テキスト】

提供: 情報戦略モデル研究所

はじめに

- コースの目標
- コースの概要
- コースの位置づけ
- カリキュラム構成と単元テーマ

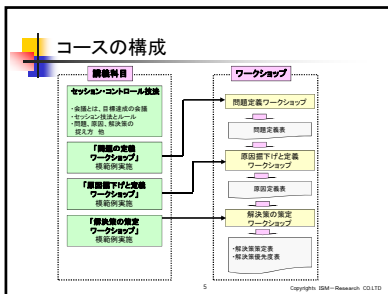
コースの目的

「企業の経営目標や各種プロジェクトに対して目標達成を阻害している問題点やニーズを整理し、参加者の共通認識のもとに解決策をまとめていくセッション・ファシリテータとしての技法を修得する」

- ◆ 会議目的に沿って議論を論理的に導く能力を修得する
- ◆ 問題ステートメントの定義手法を修得する
- ◆ 問題の定義から真の原因への絞り込み、解決策の策定に至る論理的な手順を修得する
- ◆ 参加者全員の合意による行動計画作成するための手法を修得する

コースの概要

- ◆ セッションコントロールの技法
 - セッション会議とは
 - 目標達成の会議
 - セッション技法とルール
 - 問題、原因、解決策の捉え方
 - ワークショップ手順と参加者の役割
 - プログラムの適用分野
- ◆ 問題の定義ワークショップ
 - 問題の記述
 - 問題の整理
 - 問題の定義
- ◆ 原因絞り込みと定義ワークショップ
 - 原因の把握と絞り込み
 - 原因の定義
- ◆ 解決策の定義ワークショップ
 - 解決策の定義
 - 解決策の条件と前提条件
 - 解決策の優先度付け



カリキュラム構成

日程	単元	目的	研修項目	時間
	コース実行前各チーム編成		① 会議とは ② 目標達成の会議 ③ セッション技法とルール ④ 問題、原因、解決策の捉え方 ⑤ ワorkshop手順と参加者の役割 ⑥ プログラムの適用分野	9:30~10:30
1日目	1. セッションコントロールの技法	会議の目的、効果的な進め方およびその技法を修得する	① 会議とは ② 目標達成の会議 ③ セッション技法とルール ④ 問題、原因、解決策の捉え方 ⑤ ワorkshop手順と参加者の役割 ⑥ プログラムの適用分野	10:00~12:00
	2. 問題の定義ワークショップ	問題の定義を行うことにより共通認識の出発点を確認し、問題点を整理する	① 問題の記述 ② 問題の整理 ③ 問題の定義	13:00~17:30
	3. 原因の定義ワークショップ		④ 原因の絞り込み ⑤ 原因の定義	17:30~18:00 18:00~18:30
	まとめ及びQ/A			

カリキュラム構成

日程	単元	目的	研修項目	時間
2日目	3. 原因の定義ワークショップ	定義された問題から共通認識の下に真の原因を突き止めていく意思の集中を修得する	① ワorkshopの手順 ② 問題の掘下げと定義の技法 ③ 原因の掘下げと定義	9:30~14:00 (昼食1時間)
	4. 解決策の策定ワークショップ	真の原因から共通認識のもとに解決策を策定し、優先順位による選択の技法を修得する	① ワorkshopの手順 ② 解決策の策定の技法 ③ 解決策の条件と前提条件 ④ 解決策の優先度付け	14:00~18:00
	まとめ及びQ/A			18:00~18:30

第1章 セッション・コントロールの技法

1. 会議とは
2. 目標達成の会議
3. セッション技法とルール
4. 問題、原因、解決策の捉え方
5. ワorkshop手順と参加者の役割
6. コンサルティングワークショップの適用分野

1. 会議とは

(1) 現在の会議

会議の成果とは

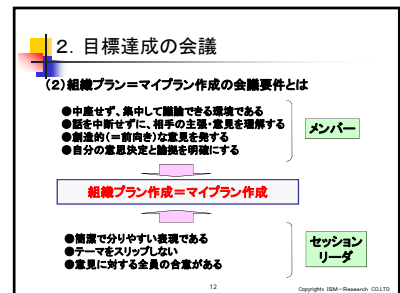
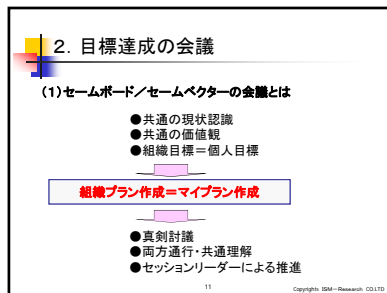
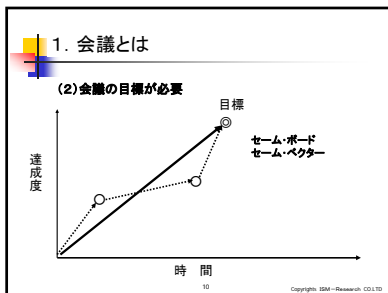
- 結論
- 共通認識
- 担当者
- スケジュール

ところが

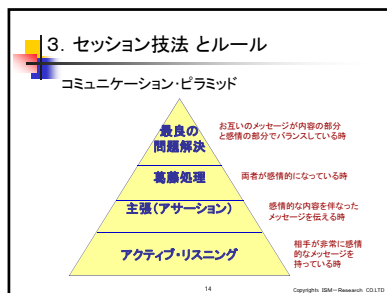
現実の会議では

- 収束のつかない議論
- 一方的な押し付け
- 意見を言わない/聞いていない

会議とは成果をだすために「考え」、「削減」、「決定する」場では?

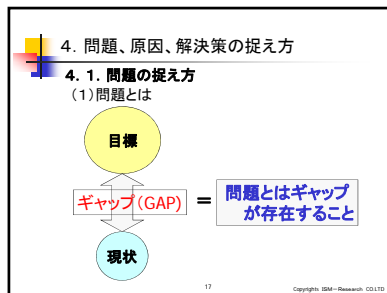


- ### 3. セッション技法 とルール
- #### 3. 1. セッション技法
- (1) グループダイナミクス
- ・コミュニケーション
 - ・コンフリクト(葛藤)
 - ・クリエイティビティ(創造)
 - ・コンセンサス(合意)
 - ・コミットメント(公約)
- Copyrights ISM—Research CO.LTD



- ### 3. セッション技法 とルール
- (2) 二進法的論理
- YES, NOの意思決定
 - 賛否の論拠
- (3) 事実及び論理の追求
- 事実・推測・想像の区分
 - 因果関係の究明
- Copyrights ISM—Research CO.LTD

- ### 3. セッション技法 とルール
- #### 3. 2. セッション・ルール(厳守規律)
- | | |
|-----------------------|---------------|
| ① LISTEN | ● 相手の主張・意見の理解 |
| ② THINK | ● 話を中断しない |
| ③ TALK NET | ● 集中・クリエイティブに |
| ④ STATE CLEARLY | ● 簡潔に |
| ⑤ 1 SUBJECT AT A TIME | ● 逸話表現 |
| ⑥ BE DECISIVE | ● テーマをスリッパしない |
| ⑦ UNANIMOUS AGREEMENT | ● 集中 |
| | ● 自分の意思決定、論拠 |
| | ● 全員の合意 |
| | ● 対案なければ賛成 |
- Copyrights ISM—Research CO.LTD



- ### 4. 問題、原因、解決策の捉え方
- #### 4. 1. 問題の捉え方
- (1) 問題とは
- 目標達成の阻害要因(障害)
 - 問題の定義 = 目標 + 原因 + 結果
- Copyrights ISM—Research CO.LTD

4. 問題、原因、解決策の捉え方

4.1. 問題の捉え方

(2) 問題の記述

目標1位

ブービー

問題: ブービーでした?

19 Copyrights ISM—Research CO.LTD

4. 問題、原因、解決策の捉え方

4.1. 問題の捉え方

(3) 問題点の定義

目標1位

ブービー

目標: 10チーム中1位になるべきところ
 原因: 舵の故障があったため
 結果: ブービーになってしまった

真の問題 → 原因(舵の故障)

20 Copyrights ISM—Research CO.LTD